

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●柴田大知騎手、大野拓弥騎手がともに通算300勝を達成

8月2日(日)の2回新潟2日・第3レースではコスモナオスが1着となり、同馬に騎乗した柴田大知騎手(美浦・フリー)は、現役44人目となるJRA通算300勝(6470戦目)を達成しました。同じく2回新潟2日・第6レースではボーアムルーズが1着となり、同馬に騎乗した大野拓弥騎手(美浦・フリー)は、現役45人目となるJRA通算300勝(6508戦目)を達成しました。

●日本馬3頭が豪G1コーフィールドCに予備登録

10月17日(土)、オーストラリアのコーフィールド競馬場にて開催されるBMWコーフィールドC(G1)に、ハナズリベンジ(牝4歳/栗東・牧田和弥厩舎)、フェイムゲーム(牡5歳/美浦・宗像義忠厩舎)、ホッコーブレヴ(牡7歳/美浦・松永康利厩舎)の3頭が予備登録をおこないました。

●ジョッキーベイビーズ地区予選がスタート

7月26日(日)、JRA日高育成牧場にて開催された「浦河競馬祭」において第7回ジョッキーベイビーズの北海道地区代表決定戦が実施され、大池峻馬さん(小学4年生・浦河ポニー少年団)が地区代表に選出されました。また8月2日(日)、長野県塩尻市で開催された「高ボッチ高原観光草競馬大会」では長野地区代表決定戦が実施され、津本柁さん(中学1年生・ARC空港乗馬倶楽部)が地区代表に選出されました。

●2015年度の上半期JPNサラブレッドランキング発表

今年上半期(1月1日から7月31日)の「JPNサラブレッドランキング」暫定レーティングが発表されました(単位はポンド)。3歳首位、全体でも古馬を抑えてトップとなったのは二冠馬ドゥラメンテ(121)。3歳牝馬は桜花賞馬レッツゴードンキとオックス馬ミッキーオンが並び(112)、3歳ダート部門はジャパンダートダービー勝ち馬ノンコノユメがトップ(112)。4歳以上ではゴールドシップとラプリーデイ(120)、4歳以上牝馬ではラキシス(116)が首位で、古馬ダートではフェブラリーS連覇のコパノリッキー(117)がトップとなっています。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●新種牡馬カジノドライブ産駒が重賞制覇、各地の主要2歳重賞

ブリーダーズゴールドジュニアC(8月6日、門別、1600円)は、好位の内を進んだ4番人気のストレートアップ(牡、父カジノドライブ)が直線半ばで抜け出して優勝。デビュー戦を圧勝した単勝1.3倍で圧倒的人気のライゾマティクスは6着に沈んでいます。

●オヤコダカが北海道二冠を達成、各地の主要3歳重賞

王冠賞(7月30日、門別、1800円)は、後続を引き付けて逃げた北斗盃の覇者オヤコダカ(牡、父サムライハート)が3馬身差で楽勝、単勝1.3倍の支持に応えました。三冠の第二関門、北海優駿でスタート直後に躓いて落馬したことが悔まれます。

●ダノンレジェンドらが出走、8月12日のクラスターC(盛岡)

クラスターC(JpnⅢ、盛岡、1200円)は、重賞3勝のダノンレジェンドが中心、以下昨年の覇者サマリーズ、ポアゾンブラック(北海道)、エーシンピートロン、ルベージェドランジェ、ラブバレット(岩手)の順に有力視されます。

●ブリーダーズゴールドCには連覇を目指すサンビスタらが参戦

ブリーダーズゴールドC(JpnⅢ、8月13日、門別、2000円)は、昨年の覇者サンビスタが前2走今一つの内容だけに、ホワイトフーガ、アムールブリエにも付け入る隙があるものと考えられ、アクティビューティ、キャニオンバレーを加えたJRA所属馬同士の争いとなりそうです。

★海外競馬ニュース 文・石川ワタル★

●アメリカンファラオ強し〜米三冠達成後の初戦を楽勝

アフタームド以来37年ぶりの米三冠馬アメリカンファラオ(牡3歳、父パイオニアオブザナイル)は8月2日、モンマス競馬場(ニュージャージー州)のハスケル招待S(3歳、G1、ダート9^{1/2})に向かい、2番手から抜け出して快勝しました。2馬身^{1/4}遅れてキーンアイスが2着。勝利騎手V.エスピノーザ、調教師B.パファート。これで2歳の初戦5着以降、エスピノーザ騎乗で8連勝(うちG1・7勝)で、今季は6戦6勝、目下G1・5連勝。このレースの賞金は三冠馬出走で75万^{ドル}増とされ、総額175万^{ドル}、1着110万^{ドル}でした。このあと一戦し、ブリーダーズC・クラシックで引退の予定です。

●14/15年の豪州競馬終了〜首位種牡馬はファストネットロック

14/15年の豪州競馬は7月をもって閉幕、首位種牡馬はファストネットロック(父デインヒル)で確定しました。3年前に次いで2度目のトップ。シドニーの首位騎手は96勝のH.ボウマン、調教師は144勝のC.ウォラー、メルボルンの首位騎手は60勝のD.オリヴァー、調教師は79勝のD.ウィアーでした。